**早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「イメージ文化史」主催**

**2015年度　ワークショップ**

**「マンガ、あるいは「見る」ことの近代」第４回**

**日時　　2015年5月22日（金）　18：00～20：00**

**場所　　早稲田大学戸山キャンパス33号館3階第1会議室**

細馬宏通

（滋賀県立大学人間文化学部教授）

フキダシと時間

　　浅草十二階や絵葉書から、テレビドラマ、ポップ・ソングにいたるまで、驚くほどに多彩な題材を、人間行動学と表象文化論を結び合わせた独自の視点から鋭く論じ続けている細馬宏通さん。とりわけ『ミッキーはなぜ口笛を吹くのか』（新潮選書、2013年）によってアニメ・マンガ研究からも熱い視線を送られる存在となった細馬さんが、このワークショップに登場してくれます。近年のマンガ研究でつとに注目されているコマと時間の関係という問題を、イエローキッドのTシャツから現在のマンガにおけるフキダシ外のセリフの機能まで、古今のフキダシ表現から考える大注目の講演会！

お問合せ先：総合人文科学研究センター研究部門「イメージ文化史」

imagebunkashi@list.waseda.jp